

野鳥公園のさえずり広場には、 どのようなコケがあるのか



4 年

調べた理由

- コケについてどんな種類があるのか、調べてみたいと思ったから。
- ハマキゴケを知っていたので、さらにもっとコケについてくわしく知りたかったから。

調べた方法

1. 期間：2021年5月11日から11月5日（全6回）
2. 場所：野鳥公園さえずり広場
- 3：手順
 - ①さえずり広場をA,B,C,D,Eの5つに分け，そこにはえているコケを観察した。
 - ②こけの生えている場所，くきや，葉のようす，さわったかんじなどについて調べた。

野鳥公園の地図



さえずり広場
を5つに分けて、
それぞれの場所
で、多くみられ
たコケについて
調べた。

調べた結果

場所 A でみられたコケ



ナガヒツジ
ゴケ

(石をおおうように生えていた)



ホンシノブ
ゴケ

(ふわふわしていた)



コモチイト
ゴケ

(木にくっついていて)

場所 B でみられたコケ①

7月16日は写真がとれなかったので、インターネットから画像を借りました。



ハマキゴケ

(しめっている所は、葉がひらいてる)



ハイゴケ

(くきの両側に葉が生えている)

場所B でみられたコケ②



ラセンゴケ

(地面をおおうように生えている)



シシゴケ

(木の根元をおおうように生えている)

場所Cでみられたコケ



オオトラノオ
ゴケ

(かさかさしている)



キシシゴケ

(細くて糸みたいな形)



トヤマシノブ
ゴケ

(ふさふさしている)

場所D でみられたコケ①



ヒロハツヤ
ゴケ

(少ししめっている)



クサゴケ

(胞子体がある)



ホソウリゴケ

(集まって生えている)

場所Dでみられたコケ②



ツルチ ヨ ウチン
ゴケ

(葉の形が花ににている)



カガミゴケ

(地面をおおうように生えている)

場所 E でみられたコケ



ケヘチマゴケ

(かさかさしていた)



ミノゴケ

(しめっていた)

コケが生えている場所のちがい

場所							合計
石	ナガヒツ ジゴケ	ホンシノ ブゴケ	オオトラノ オゴケ	ヒロハツ ヤゴケ	ホソウリ ゴケ	ツルチョ ウチンゴ ケ	6種類
木	コモチイ トゴケ	シシゴケ	クサゴケ	ヒロハツ ヤゴケ			4種類
地面	キシシゴ ケ	トヤマシ ノブゴケ	ハマキゴケ	ハイゴケ	ラセンゴ ケ	シシゴケ	10種類
	ホソウリ ゴケ	カガミゴ ケ	ケヘチマ ゴケ	ミノゴケ			

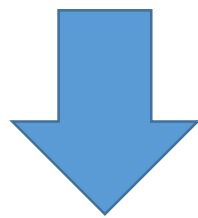
地面に生えている種
類が一番多かった！

生えている場所のちがいが分からなかったこと

- 地面に生えている種類が多かった。
- 色は、種類ごとにちがった。特に黄緑色が多かった。
- 木では、根元に生えている種類が多かった。
- 石をおおうように生えていた。
- Dの場所に、コケの種類が多かった。

考察

- コケは，地面や木の根元や石など，色々な場所に生えていた。
- 場所 D に，コケの種類が多かった。



このことから，コケは，木や石などに生えていて，さらに日かげのある場所に多く生えていると，考えられる。

感想

- わたしは、コケは日かげに多く生えている，ということが分かってよかったです。
- さえずり広場には，たくさんの種類のコケがあることが分かりました。また，コケは，石や木，地面など，いろいろな所に生えていると分かりました。
- わたしの好きなコケは，キシシゴケです。
- 来年は，日なたと日かげのコケのちがいについて，くわしく知りたいです。

参考文献

「特徴がよくわかるコケ図鑑」

藤井久子・著　秋山弘之・監修
家の光協会・発行